

発生多発! 山岳遭難 あなたの安全対策は、本当に大丈夫?

登山の前にチェック

- ☐ 自分の体力、技能及び健康状態に合った登山ですか
- ☐ 日数合わせのために無理な行程を組んでいませんか
- ☐ 気象状況と山岳の気候特性を正しく理解しましたか
- ☐ 登山計画書は提出しましたか
- ☐ 非常時のことも想定した適切な装備をお持ちですか
- ☐ 連絡、通報のための通信手段はありますか

少しでも無理がある時は登山を中止しましょう。事故に遭わなければ、また、いつでも登れるのです。

入山するときは ホイッスルを忘れずに

山の気候は変化が激しいので、最新の情報を確認しましょう。

気象庁のホームページ
<http://www.jma.go.jp/>



身を守るための計画と対応力

- ① エスケープルート（緊急時の逃げ道）を考える
- ② ラジオなどで常に気象状況を把握する
- ③ 装備を確認する
 - ・低体温症予防の防寒着
 - ・携帯電話・無線機など緊急時連絡手段
 - ・冬山ではビーコンなど雪崩に対する装備
- ④ 登山計画はパーティ全員で検討・理解する
- ⑤ 万一の遭難に備え山岳保険に加入する



北海道山岳遭難防止対策協議会

登山計画書は必ず提出しましょう。

《提出先》

○ 家庭、クラブ（山岳会）、職場、学校など

○ 警察本部、警察署、交番、駐在所

《インターネットでも届出できます》



(公財)山岳ガイド協会
コンパス

北海道警察



火山に登る時は、
届出をしましょう。

万一、遭難した場合に登山計画書を提出していれば捜索活動がスムーズに行われます。

登山計画書はあなたの生命を守るザイルです。

近年、連続で山岳遭難が発生している山岳（平成27年～平成29年）

